

市民協働センターだより

子どもたちの新たな学びの場について考える

子どもにとって地域や社会との関わりは、信頼できる大人との出会いや、経験から学ぶ力を身につける貴重な機会です。子どもは学校に加えて様々な機会をもつことで、自分がんばれる場所、輝ける場所を自分で見つけて自己肯定感を養っていきます。

子どもたちが身の回りのことに興味をもち、学びを深めていくために、学校や家庭だけではなく、第三者としての大人や、地域ならではの役割があるかもしれません。

多様化する子どもの育ちを社会で見守っていくために、わたしたちができることを一緒に考えてみませんか。

◆新たな学びの場づくりを考えるワークショップ

【と き】11月14日(土)10時～12時

【対 象】子どもの学びや学びの場づくりに関心がある人(年齢・居住地不問)で、今後関連するアンケートに回答できる人

【定 員】40人程度(先着順)

【参加費】無料

【内 容】

○ゲストパネラーによる活動事例紹介

- ・荒木勇輝氏(NPO法人寺子屋プロジェクト代表)
- ・林智子氏(虹の学び舎プロジェクト代表)
- ・松田幸夫氏(滋賀県コミュニティスクールアドバイザー)

○参加者同士の話し合い

※「Zoom」アプリケーションを使ったオンライン形式。

詳しくは参加者に別途連絡します。

問・申 市民協働センター (☎65-6525)

「みんなの掲示板」ぜひご利用ください!

文化福祉プラザ1階フリースペースに「みんなの掲示板」を設置しました。パネルボード1枚分の大きさで、「活動の仲間を増やしたい」「イベントの情報を広めたい」といったとき、チラシ等を掲示していただけます。

情報発信という現在はSNSの利用が多いですが、SNSになじみのない人に向けてはもちろん、不特定多数の利用者が行き交うさざなみタウンだからこそその効果が期待できます。

【掲示のルール】

掲示期間は原則2週間程度、チラシサイズはA4以下

問・申 市民協働センター (☎65-6525)

「センター通信紙“コラボ!”創刊

センターからの情報発信として、新たに通信紙「コラボ!」を創刊しました。センター駐在のコーディネーターが企画・取材・執筆・デザインを担当。紙面の目玉である特集では、市内各地域ならではの悩み事や困りごとを「見える化」し、その課題解決に取り組む事例を紹介し、ここに住む誰もが「このまちに住んで良かった」と思える地域をめざすきっかけが生まれる紙面づくりをめざします。



▲第2号は12月発行。組回覧のほか、各まちづくりセンターに設置

こんな活動してます! NPO法人 ふれんど

いつまでも健康で自分のことが自分でできるように。長寿社会の今、誰もが願うことでしょう。ただ、体のどこかに支障をきたしたとき、手すりや杖、車椅子などの「福祉用具」が生活の補助になります。

昨年結成した「ふれんど」では、誰もがいきいきと暮らせる地域社会をめざし、福祉用具が必要な人に正しい使い方を伝え、便利で快適に生活できるような取り組みを進めています。

使用者の身体や環境に合わせた用具選びや設置が何より大事だからこそ、使用者や介護者の悩みや戸惑いを解決したいと随時相談を受け付けています。理事長の丸中祥司さんは元福祉用具販売店勤務で両親を介護した経験を持つほか、会員には現役ケアマネージャーや建築士が揃い、技能を生かしたアドバイスをめざします。また、福祉用具についてわかりやすく紹介した新聞を発行し情報発信も。小さな困りごとにも気軽に相談してみてください。



▲情報発信紙「ふれんど」は文化福祉プラザや各まちづくりセンターなどに設置

問 NPO法人ふれんど (☎50-2316)
月～金曜日 9時～16時30分



◇ながはま市民協働センター

☎65-6525 Mail: katsudou@city.nagahama.lg.jp 休所日 火曜日

◇北部サテライトセンター きのもと交遊館

〒526-0425 長浜市木之本町1118 開所日 水・日曜日